

第2次 いわき市 ユニバーサルデザイン 推進指針

みんなにやさしく みんなが暮らしよいまち いわき

令和5（2023）年3月

目次

▶ I 指針策定の考え方

1. ユニバーサルデザインとは? …… P 1
2. ユニバーサルデザインに係る経緯等 …… P 2
3. 市のこれまでの取組 …… P 3
4. 新たな指針策定の背景 …… P 4
5. 指針策定の趣旨 …… P 5
6. 指針の位置づけ …… P 6

▶ II 本市の現状と課題

1. 統計等に見る現状と課題 …… P 7
2. アンケート調査結果に見る現状と課題 …… P 9

▶ III 目指すまちづくり

1. 基本理念 …… P 11
2. 基本方針 …… P 12

▶ IV 市の取組

1. 取組の柱 …… P 13
2. 市の施策
 - (1) 基本方針Ⅰ ひとづくり …… P 14
 - (2) 基本方針Ⅱ まちづくり …… P 17
 - (3) 基本方針Ⅲ しくみづくり …… P 20

▶ V ユニバーサルデザインの推進体制

1. 市の推進体制 …… P 23
2. 各主体の役割 …… P 24

《参考資料》

1. 市民アンケート調査 …… P 26
2. 第2次いわき市ユニバーサルデザイン
推進指針検討委員名簿 …… P 37
3. 策定経過 …… P 38

I 指針策定の考え方 ①

1. ユニバーサルデザインとは？

- ▶ 「ユニバーサルデザイン」とは、「ユニバーサル（すべての）」と「デザイン（設計、計画）」を組み合わせた言葉で、**年齢や性別、能力、国籍の違いにかかわらず、すべての人に配慮した暮らしづくり**をしていこうとする考え方で、1985年に米国の建築家ロナルド・メイス氏によって提唱されました。省略して「**UD**（ユーザー）」とも言われます。



- ▶ ユニバーサルデザインには、次の**7つの原則**が設定されています。

- ① **公平性** …… 誰もが公平に利用できる
- ② **自由度** …… 使ううえで自由度が高い
- ③ **単純性** …… 簡単に使える
- ④ **分かりやすさ** …… 必要な情報がすぐに理解できる
- ⑤ **安全性** …… うっかりミスや危険につながらない
- ⑥ **負担の少なさ** …… 身体的に楽に使える
- ⑦ **空間性** …… 利用しやすい大きさや広さ

いわき市小学生ユニバーサルデザイン「やさしさ」写真コンクール
最優秀賞作品



【令和3年度】
「ユニバーサルなAI接客システム」



【令和4年度】
「忘れ物防止トレー」

I 指針策定の考え方 ②

2. ユニバーサルデザインに係る経緯等

(1) 「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」

- ▶ 「**バリアフリー**」は、障がい者や高齢者の活動を困難にする建物や道路の段差などの障壁（バリア）の除去（フリー）を意味する建築用語ですが、現在は、あらゆる人の社会参画を困難にするすべての分野の**障壁を除去**する意味で使われています。
- ▶ 「**ユニバーサルデザイン**」は、**あらかじめすべての人が利用しやすいように**まちや生活空間をデザインしようとする考え方です。



江名市民サービスセンター

(2) 国の主な経緯

- ▶ 平成6年の『高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律』の施行などにより、建物や交通環境のバリアフリー化が図られる中、平成14年に閣議決定された『**障害者基本計画**』において、障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重して支え合う共生社会に向け、バリアフリーに加え、ユニバーサルデザインの推進が明示されました。
- ▶ 平成20年に『**バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱**』が関係閣僚会議で決定され、すべての人が個々の属性や状況にかかわらず、自信と喜びを持って生活できるよう、バリアフリーとユニバーサルデザイン両方の推進が必要とされました。



『ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針』より

(3) 県の主な経緯

- ▶ 福島県は、平成14年に『ふくしまユニバーサルデザイン推進指針』（①）、平成15年に具体的施策を推進する『ふくしまユニバーサルプラン推進プラン』（②、後に計画）を策定しました。
- ▶ 平成16年に「ふくしま型UD」の推進を図るため①を改訂、平成17年に『ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針』を策定、さらに平成22年には、①と②を統合して『**ふくしまユニバーサルデザイン推進計画**』を策定（平成25年に改定）しました。

I 指針策定の考え方 ③

3. 市のこれまでの取組

(1) 『市ユニバーサルデザイン推進指針』（第1次）の策定と推進

- ▶ 平成19年、市、市民、民間団体、事業者等が共通理解に立ち、市全体でユニバーサルデザインを推進することを目的に、『市ユニバーサルデザイン推進指針』（第1次）を策定しました。
- ▶ 指針では、「“認め愛、思い愛、支え愛” 気づいたことからはじめよう！」をキャッチフレーズに、ひとづくり、まちづくり、ものづくり、サービス・情報、社会参加の5分野ごとに取組の方向と具体例を示し、各種施策を推進するとともに、市民や事業者などの各主体の実践を促進してきました。
- ▶ 平成25年には、東日本大震災に伴う社会情勢の変化や市民ニーズに対応するため、市民意識調査や取組の検証を踏まえ、一層の推進が図られるよう、指針を改訂しました。



(2) 関連計画の策定と推進

- ▶ ユニバーサルデザインに関連する主な計画として、『第5次市障がい者計画』を令和3年2月に、『第四次市男女共同参画プラン』を令和4年3月に、『市DV防止基本計画』『市女性活躍推進計画』を兼ねて策定し、障がい者への理解や心のバリアフリー、女性の活躍や人権の尊重を推進しています。



(3) 多文化共生の推進

- ▶ 外国人住民の増加を受け、平成31年4月に「外国人との共生社会実現に向けた環境整備検討会議」を設置し、令和元年10月に『外国人との共生社会実現に向けた“いわき版”総合的対応策』をまとめました。
- ▶ 令和2年には、市内の企業や大学などで構成する「外国人材受入企業連絡協議会」が設置され、産学官をあげた多文化共生の推進体制が整えられています。
- ▶ 市内居住外国人や本市を訪れる外国人が安心できる、そして暮らしやすいまちづくりを目指し、多文化共生推進事業に取り組んでいます。

I 指針策定の考え方 ④

4. 新たな指針策定の背景

(1) 社会情勢の変化

- ▶ 全国、特に地方において**人口減少**、**少子高齢化**が一層進行しています。
- ▶ 社会の多様化が伸展し、**男女共同参画**、**多文化共生**、**多様な性自認の理解**が広がっています。
- ▶ **SDGs**（持続可能な開発目標）の地方自治体計画への反映が求められています。
- ▶ **デジタル技術**が進展し、様々な分野で省力化・効率化が進んでいます。
- ▶ **新型コロナウイルス感染症**の影響で、高齢者や障がい者などの社会的弱者の孤立が顕在化しています。



『大会を契機とした取組とレガシー～TOKYO 2020』より

(2) 国の計画とりまとめ

国は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、ユニバーサルデザイン化・心のバリアフリーを一層推進するため、平成29年に関係閣僚会議において『**ユニバーサルデザイン2020行動計画**』をとりまとめました。

(3) 県の計画改定

福島県は、令和3年の総合計画の改定に合わせ、県づくりの理念の一つである“多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会づくり”を推進するため、同年12月に『**ふくしまユニバーサルデザイン推進計画**』を改定しました。



福島県ホームページより

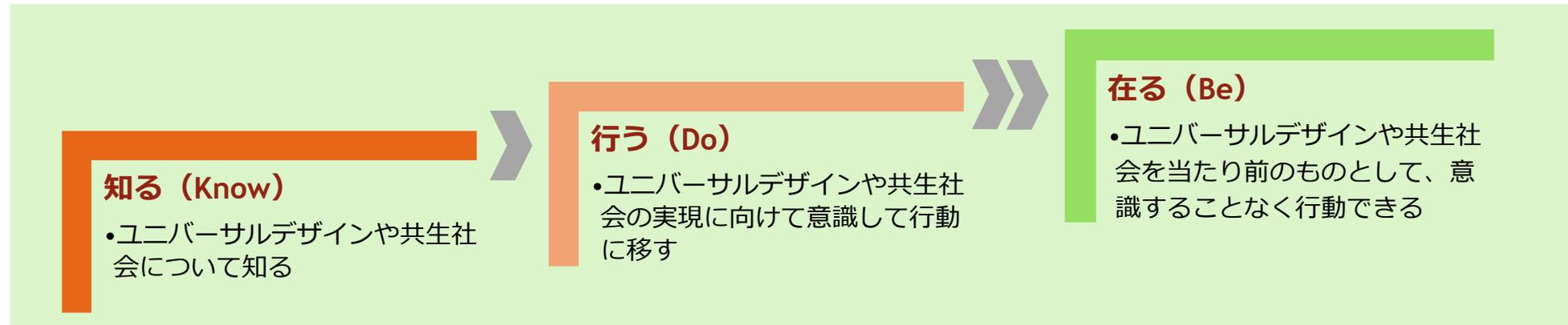
(4) 市の指針改訂から一定期間経過

『**市ユニバーサルデザイン推進指針**』が平成25年の改訂から**10年**が経過しています。

I 指針策定の考え方 ⑤

5. 指針策定の趣旨

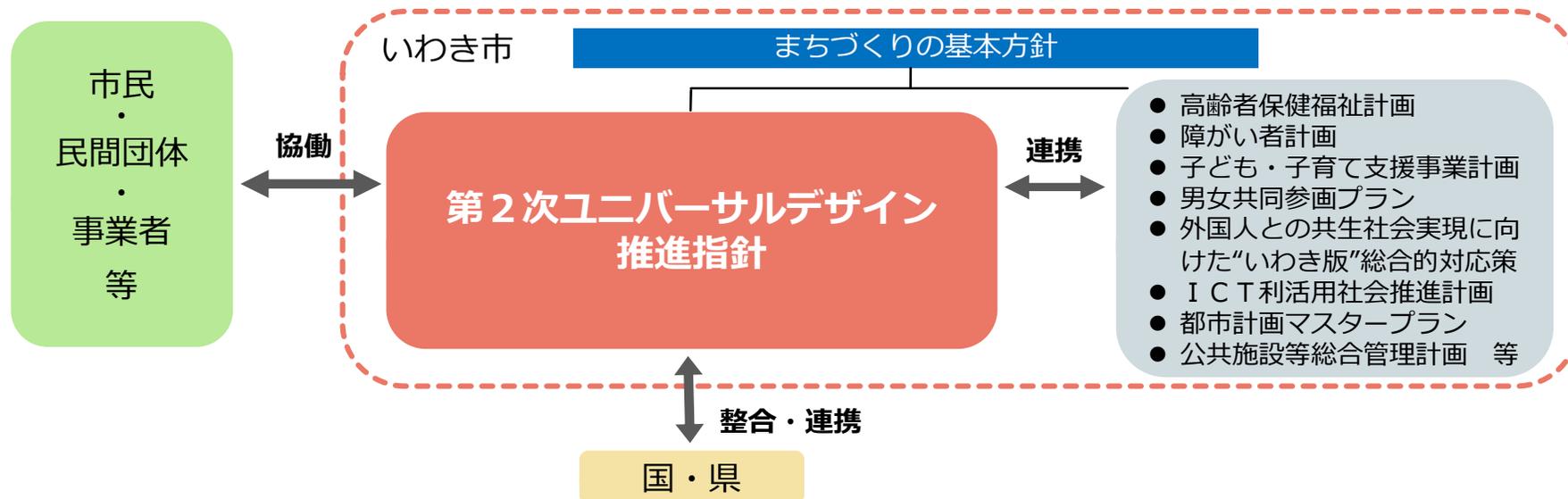
- ▶ 本市は『市ユニバーサルデザイン推進指針』に基づき、市、市民、事業者、民間団体等が方向性を共有しながら、ハード、ソフト、さらには心のユニバーサルデザイン化に取り組んできました。
- ▶ このような中、少子高齢化の進行、外国人住民の増加、SDGsへの取組の広がり、さらには新型コロナウイルス感染症の影響など、本市を取り巻く社会情勢の変化に対応するとともに、国や県と連動しながら、ユニバーサルデザインが「知る」「行う」ものから当たり前「在る」ものへ、より進化した共生社会の実現を目指し、『第2次いわき市ユニバーサルデザイン推進指針』を策定するものです。



I 指針策定の考え方 ⑥

6. 指針の位置づけ

- ▶ 本指針は、**市、市民、民間団体、事業者が協働**で、ユニバーサルデザインに関する取組を推進していくための計画とするものです。
- ▶ 本指針は、市の『まちづくりの基本方針』に基づく分野別個別計画であり、他の個別計画と連携しながら本市のユニバーサルデザインを推進するものです。
- ▶ 本指針は、国の『ユニバーサルデザイン2020行動計画』や、福島県の『ふくしまユニバーサルデザイン推進計画』などの関連する計画と整合を図りながら連携するものです。



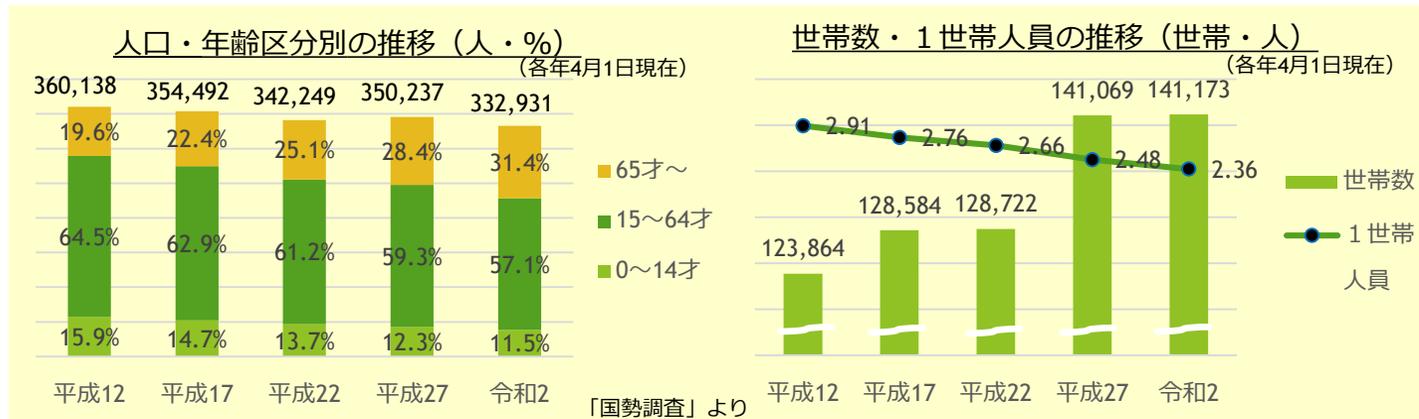
- ▶ 本指針は、本市のユニバーサルデザインを取り巻く環境の変化に応じて適宜見直すこととします。

Ⅱ 本市の現状と課題 ①

1. 統計等に見る現状と課題 ①

(1) 人口減少・少子高齢化・小世帯化

人口減少、少子高齢化、小世帯化が進んでいます。

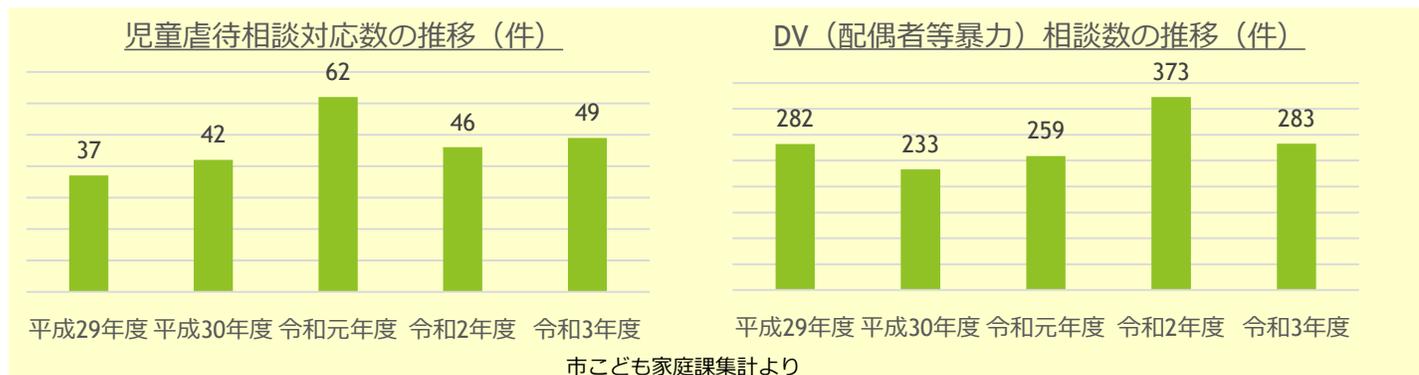


課題

- ① 高齢により生じる特性に配慮したまちづくりの推進が必要です。
- ② 思いやりの心を育む機会の拡充が必要です。

(2) 人権

児童虐待やDV（配偶者等暴力）の相談が減っていません。



課題

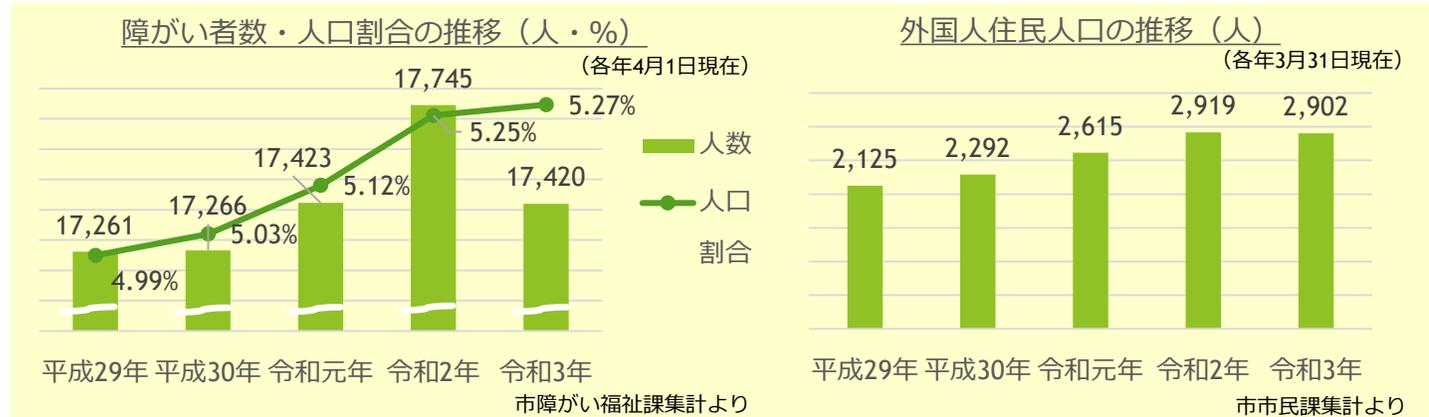
- ③ 女性や子どもの権利や安全・安心を守る環境づくりの推進が必要です。

Ⅱ 本市の現状と課題 ②

1. 統計等に見る現状と課題 ②

(3) 多様性

障がい者の人口割合や在住外国人の数が増加傾向にあります。



課題

- ④ 多様性を尊重し、違いを認め合える地域社会の醸成が必要です。
- ⑤ 障がい者や外国人が暮らしやすいまちづくりの推進が必要です。

(4) 男女共同参画

家庭での平等意識や女性活躍はわずかに向上していますが、依然として低調です。



課題

- ⑥ 男女共同参画、女性活躍を一層推進する必要があります。

Ⅱ 本市の現状と課題 ③

2. アンケート調査結果にみる現状と課題 ①

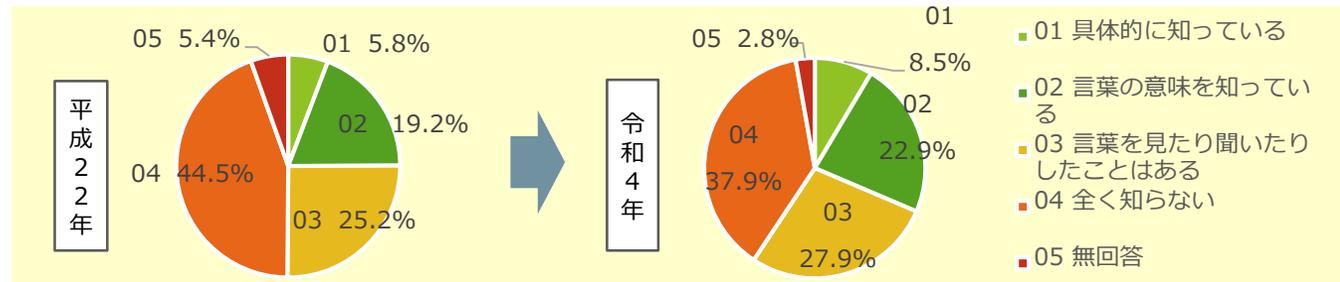
《アンケート調査の概要》

- 調査目的：ユニバーサルデザインに関する市民の意識や意見を調査
- 調査期間：令和4年2月25日～3月17日
- 調査対象：市民3,000名（18歳以上から無作為抽出）
- 回答数：1,187名（回答率39.6%）

【主な調査結果と課題】

(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度～前回調査（平成22年）との比較

認知度は向上しましたが、依然として「全く知らない」が多くなっています。

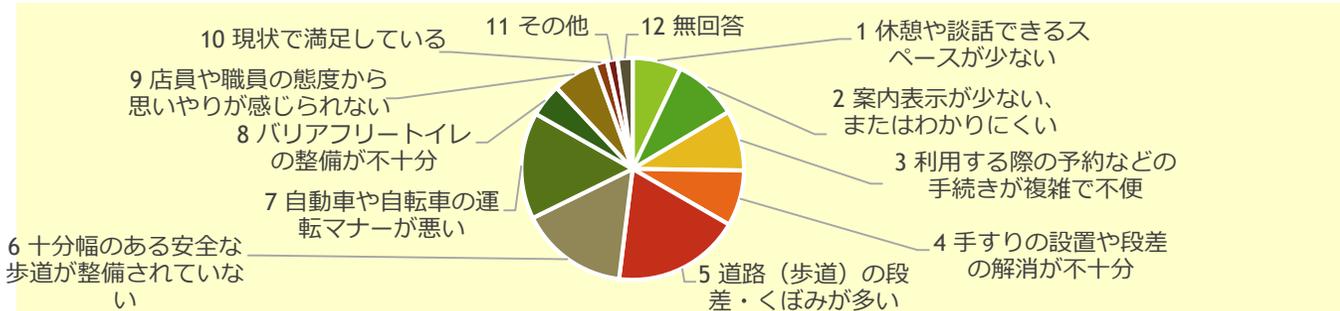


課題

- 7 ユニバーサルデザインに関して理解を深める機会の拡充が必要です。

(2) まちのユニバーサルデザイン不足の認識

ユニバーサルデザイン不足を感じることは、ハード、ソフト、心の面で様々です。



課題

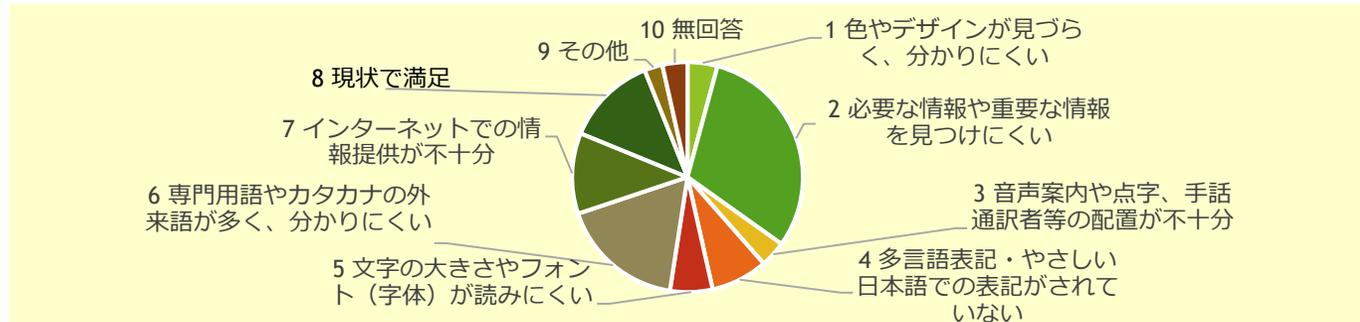
- 8 ハード・ソフト両面でユニバーサルデザインのまちづくりを一層進める必要があります。
- 9 心のユニバーサルデザインの浸透が必要です。

Ⅱ 本市の現状と課題 ④

2. アンケート調査結果にみる現状と課題 ②

(3) 情報のユニバーサルデザイン不足の認識

行政等の情報に関し、重要情報の見つけにくさや専門用語の多さが指摘されています。

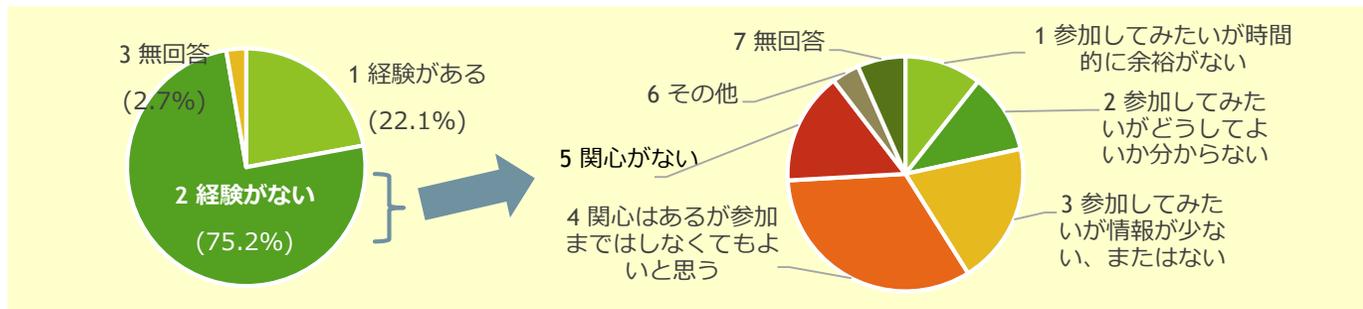


課題

- ⑩ わかりやすい情報の発信と情報の多言語化を推進する必要があります。

(4) 障がいのある方や外国人等との交流や支援活動への参加

参加の「経験がない」が多く、理由としてきっかけや情報の不足があげられています。



課題

- ⑪ 多様性を尊重する地域社会のため、自ら実践する人材の育成が必要です。
- ⑫ 多文化交流の機会の拡充と情報発信の強化が必要です。

Ⅲ 目指すまちづくり ①

1. 基本理念

社会情勢が変化する中、様々な課題に対応し、市、市民、民間団体、事業者が協働で地域社会のユニバーサルデザイン化を進めるため、『第2次いわき市ユニバーサルデザイン推進指針』における目指すまちづくりの「基本理念」を次のとおりとします。

みんなにやさしく みんなが暮らしよいまち いわき

年齢、性別、国籍などの違いや障がいの有無にかかわらず、すべての人が安全・安心で心豊かに暮らすことができ、自由に社会参画できるよう、多様な特性に対応したハード・ソフトのまちづくりを進めていくとともに、互いの個性を尊重し、認め合いながら自然に配慮できる思いやりの心を育み、ユニバーサルデザインが当たり前なまちの実現を目指します。



Ⅲ 目指すまちづくり ②

2. 基本方針

「基本理念」の実現に向けた「基本方針」を、次のとおり設定します。

基本方針Ⅰ 思いやりと実践のひとづくり



人の多様性への理解を深め、多様な人同士が触れ合う機会を充実させ、お互いの個性を認めて思いやる心を育み、行動に移す「ユニバーサルデザインなひと」の輪を広げます。

基本方針Ⅱ 誰にもやさしくわかりやすいまちづくり



年齢や障がいによる特性、国籍の違いなどに配慮したソフト、ハードのまちづくりを行き渡らせ、すべての人が便利で安全・安心に暮らし活動できる「ユニバーサルデザインなまち」を充実させます。

基本方針Ⅲ 誰もがつながりやすいしくみづくり



すべての人が自らの意思で社会参画でき、支え合いの共助につながることでできる共生社会の実現に向け、地域コミュニティや市民活動を活性化する「ユニバーサルデザインなしくみ」を強化します。

IV 市の取組 ①

1. 取組の柱

3つの「基本方針」ごとに、課題を踏まえた「取組の柱」を次のとおり設定します。

基本理念

みんなにやさしく
みんなが暮らしよいまち
いわき

基本方針

I
思いやりと
実践の
ひと
づくり

II
誰にもやさしく
わかりやすい
まち
づくり

III
誰もが
つながりやすい
しくみ
づくり

取組の柱

1. 思いやりの心の醸成

2. 多様性や人権の理解と実践の促進

3. 多様な人の交流の促進

1. 誰にも便利で安全・安心な空間と環境の整備

2. 誰にも伝わる情報受発信の拡充

3. 誰もが活躍できる地域経済環境の構築

1. 誰もが社会参画しやすい環境の整備

2. 共助のためのコミュニティの強化

3. 男女共同参画と多文化共生の推進

対応する主な課題(P7~10)

◀ ② ⑨

◀ ③ ④ ⑦ ⑪

◀ ④ ⑫

◀ ① ⑤ ⑧

◀ ⑧ ⑩

◀ ⑤ ⑥

◀ ⑤

◀ ④

◀ ③ ⑥

IV 市の取組 ②

2. 市の施策 ①

「取組の柱」ごとの具体的な市の取組は次のとおりとなります。

(1) 基本方針 I ひとつづくり

I-1. 思いやりの心の醸成

ユニバーサルデザインの基礎となるいのちや助け合いを大切にする心、思いやりの心の醸成を図るため、学校教育や生涯学習、市民活動など、様々な学びの機会や場の充実を図ります。

主な取組

(◎：新規)

・小中学校の道徳、総合的な学習

・ユニバーサルデザインひとつづくり推進事業 **取組 ①**

◎啓発パンフレットの改定 **取組 ②**

・出前講座（福祉・高齢者・子ども）の実施

・市職員の研修の充実

取組 ①：ユニバーサルデザインひとつづくり推進事業



「市小学生ユニバーサルデザイン『やさしさ』写真コンクールの実施などを通して、ユニバーサルデザインの普及啓発に取り組みます。

取組 ②：啓発パンフレットの改定



啓発パンフレットを改定し、学校などへ配布することにより、広く市民に対し、ユニバーサルデザインの理解促進に取り組みます。

IV 市の取組 ③

2. 市の施策 ②

I-2. 多様性や人権の理解と実践の促進

障がいの有無、年齢・国籍・性の認識の違いなど、多様性や人権に対する理解を深め、互いの個性を尊重し、心豊かに暮らせる環境のための配慮や工夫が身につく機会や啓発の拡充を図るとともに、行動に移せる人材を養成します。

主な取組

- ・ 小中学校の総合的な学習【再掲】
- ・ いわきふれあい・ふくし塾の開催
- ・ 人権啓発活動 **取組 ①**

- ・ 多様な性（LGBT※）に関する啓発活動 **取組 ②**
- ・ 日本語支援ボランティア養成講座の開催
- ・ こどもの権利相談室

※LGBT=レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字を取って組み合わせた言葉で、性的少数者を表す言葉の一つ。

取組①：人権啓発活動



年齢、性別、言語、宗教や個性の違いを認め、理解・尊重し、お互いの人権に配慮した行動ができるよう、「人権フェスタ」の開催などを通し、人権の啓発を図ります。

取組②：多様な性（LGBT）に関する啓発活動



誰もがありのままの自分らしく生きられる社会を実現するため、講演会の開催などを通し、多様な性に関する理解を促進します。

IV 市の取組 ④

2. 市の施策 ③

I-3. 多様な人の交流の促進

年齢や障がいの有無、国籍などを超えて交流しながら相互理解を深める取組を促進するとともに、参加の輪を広げる情報の拡充を図ります。

主な取組

(◎：新規)

・サンアビススポーツ塾の開催 **取組 ①**

・シルバーリハビリ体操の実施

・いわき地球市民フェスティバルの開催 **取組 ②**

・認知症カフェの運営支援

◎子ども食堂等運営支援事業

・国際交流協会HP、会報誌による情報発信

取組①：サンアビススポーツ塾の開催



障がい者と地域住民がともに楽しめるスポーツ活動を行う場を提供し、障がい者と地域住民の相互理解を深めるとともに、障がい者の地域における社会活動を推進します。

取組②：いわき地球市民フェスティバルの開催



外国にルーツを持つ市民の日本語スピーチコンテストやパフォーマンスなど、国際色豊かに市民が交流する、民間団体の主催によるイベントです。

IV 市の取組 ⑤

2. 市の施策 ④

(2) 基本方針Ⅱ まちづくり

Ⅱ-1. 誰にも便利で安全・安心な空間・環境の整備

高齢者や障がい者、外国人や妊婦などの多様な特性への配慮が行き渡り、利用しやすく安全・安心な施設、交通環境、生活空間、製品やサービスなど、暮らしよいまちづくりを推進します。

主な取組
(◎：新規)

- ・道路、公園、学校、消防署などの公共施設等のUD化
- ・次世代交通システムによる交通イノベーション推進事業
- ・高齢者等住宅リフォーム給付事業
- ◎小さな拠点形成支援事業

取組 ①

- ・みんなで創る地域交通支援事業
- ・スマートライフ推進事業
- ・赤ちゃんの駅*事業

取組 ②

※赤ちゃんの駅 = 「授乳」と「おむつ替え」の両方ができるスペース・設備（授乳室、ベビーベッド）があり、赤ちゃん連れの家族が気軽に利用できる施設。

取組①：道路、公園、学校、消防署などの公共施設等のUD化



道路や公園、学校、消防署などの公共施設等のUD化を進めることで、誰もが利用しやすい環境の整備を図ります。

取組②：スマートライフ推進事業

気軽に相談、いつでも頼れる
オンラインヘルスケアアプリ

利用料
無料

HELPO
HEALTHCARE IN POCKET

健康についての「ちょっと困った」に、
いつでも答えてくれるアプリです

<対象>
いわき市民（住民登録有）かつ
・妊婦期の方
・小学生以下のお子様がいる世帯の方
・新型コロナウイルス感染症に関する不安のある方

暮らしの質の向上を図るため、日常生活にIoT等の先端技術を活用し、心身の状態の可視化による適切な健康管理や、乳幼児の見守りによる子育て支援、健康相談アプリによる市民の健康増進などを行います。

IV 市の取組 ⑥

2. 市の施策 ⑤

II-2. 誰にも伝わる情報受発信の拡充

すべての人が必要な時に必要な情報を得ることができるよう、様々な媒体や情報通信技術を活用し、多様な特性に配慮したわかりやすい情報の発信とともに、情報を受け取りやすい環境の充実を図ります。

主な取組

- ・ 市政情報（HP、広報紙）のUD化、多言語化 **取組①**
- ・ 国際交流協会HP、会報誌による情報発信【再掲】
- ・ 公共施設等のWi-Fi※環境の整備
- ・ 公共施設等案内表示のUD化、多言語化
- ・ 防災情報のUD化 **取組②**
- ・ 女生活躍推進ポータルサイトによる情報発信

※Wi-Fi＝無線で通信する端末がお互いに接続可能となる方式。

取組①：市政情報（HP、広報紙）のUD化、多言語化



ホームページや広報紙における市政情報の発信に、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れるとともに、多言語化に取り組みます。

取組②：防災情報のUD化



見やすさに配慮した配色やピクトグラムを活用など、防災マップの情報をUD化することで、あらゆる人が視覚的に容易かつ直感的に防災情報を得られるようにします。

IV 市の取組 ⑦

2. 市の施策 ⑥

II-3. 誰もが活躍できる地域経済環境の構築

年齢や性別、障がい、国籍にかかわらず、生きがいや働きがいをもって活躍し、自立できる就労環境が整備された地域経済環境の構築を図ります。

主な取組

- ・ チャレンジ雇用推進事業
- ・ イクボス養成講座の開催
- ・ 生産性向上・ダイバーシティ推進事業 **取組 ①**

- ・ フェムテック・メンテック※の普及促進 **取組 ②**
- ・ シルバー人材センターの運営支援

※フェムテック・メンテック=フィメール（女性）・メン（男性）とテクノロジー（技術）を合わせた造語。男女特有の健康問題を技術で解決する製品やサービス。

取組①：生産性向上・ダイバーシティ推進事業



急激な人手不足に対応するため、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む市内企業等を認証・公表するなど、女性や障がい者、外国人など多様な人材が活躍できる環境を整備します。

取組②：フェムテック・メンテックの普及促進



女性や男性の健康問題をテクノロジーで解決する製品やサービスの推進により、社会進出の加速や働きやすい環境整備のほか、健康問題に対する理解促進を図ります。

IV 市の取組 ⑧

2. 市の施策 ⑦

(3) 基本方針Ⅲ しくみづくり

Ⅲ-1. 誰もが社会参画しやすい環境の整備

年齢や障がい、国籍にかかわらず、自らの意思に基づいて社会参画できるよう、様々な市民活動の活性化などにより、すべての人が充足感を得ることができる環境の整備を推進します。

主な取組

- ・ まち・未来創造支援事業
- ・ いきいきシニアボランティアポイント事業 **取組 ①**
- ・ お出かけ市役所（行政MaaS） **取組 ②**
- ・ みんなの市役所デジタル変革事業
- ・ みんなの居場所づくり事業
- ・ 市民活動支援拠点の検討
- ・ 認知症の人と家族への一体的支援事業

取組①：いきいきシニアボランティアポイント事業



市内に住所がある65歳以上の方を対象に、市が指定したボランティア活動に参加した際にポイントを付与し、当該ポイントを市の特産品等の商品に還元します。

取組②：お出かけ市役所（行政MaaS）



中山間地域等における行政サービスの充実及び市民利便性の向上を図るため、お出かけ市役所（行政MaaS）を実施します。

IV 市の取組 ⑨

2. 市の施策 ⑧

Ⅲ-2. 共助のためのコミュニティの強化

年齢や障がい、国籍にかかわらず、すべての人が平時から災害時まで、支え合いの共助の輪に加わることができるよう、地域社会における自治会、市民活動などの各種コミュニティの充実を促進します。

主な取組

(◎：新規)

◎町内会等運営サポート事業

- ・明日をひらく人づくり事業
- ・避難行動要支援者避難支援事業

・住民支え合い活動づくり事業 **取組 ①**

- ・自治会等加入促進の協力要請
- ・自主防災組織強化支援事業 **取組 ②**

取組①：住民支え合い活動づくり事業



住民主体型の生活支援サービス事業の創出とサービス提供体制の構築を支援するため、生活支援コーディネーターを配置し、地域支え合い活動づくりを推進します。

取組②：自主防災組織強化支援事業



自主防災組織の機能強化を図り、自助・共助による防災力の向上を図るほか、地域の防災リーダーとして活動する人材を育成します。

IV 市の取組 ⑩

2. 市の施策 ⑨

Ⅲ-3. 男女共同参画と多文化共生の推進

男女共同参画や多文化共生の取組を一層推進し、すべての人がいきいきと心豊かに暮らせる共生社会の実現を目指します。

- 主な取組 (◎：新規)
- ・ 男女共同参画に関する啓発活動 **取組 ①**
 - ◎ 男女共同・多文化共生センターの新設
 - ・ ワークライフバランス※の促進
 - ・ 多文化共生相談員設置事業 **取組 ②**
 - ・ 女性活躍推進ポータルサイトによる情報発信【再掲】
 - ・ 国際交流員の設置

※ワークライフバランス=仕事、家庭生活、地域生活など様々な活動が自ら希望するバランスで行える状態。

取組①：男女共同参画に関する啓発活動



「認め合い、協力し合う、男女平等のまちいわき」の実現に向け、「男女共同参画の日」に講演会や作品の表彰式を開催するなど、男女共同参画に係る意識の醸成や人材育成を図ります。

取組②：多文化共生相談員設置事業



日本人と外国人との間の“言葉の壁”や、日本人の外国出身者に対する偏見差別等“心の壁”を取り除くことを目的として、多文化共生相談員を設置します。

V ユニバーサルデザインの推進体制 ①

1. 市の推進体制

(1) 施策への反映推進

- ▶ 「ユニバーサルデザイン庁内推進会議」を定期的を開催し、全庁的な関連施策のきめ細かい進捗管理と最新情報の共有を図ります。
- ▶ 職員の意識を一層高めるため、有識者によるユニバーサルデザイン研修を採用することを検討します。

(2) 支援体制の強化

- ▶ ユニバーサルデザイン推進の重要課題である女性活躍や外国人共生などに、総合的かつ効果的に対応するため、「男女共同参画センター」が担う男女共同参画と「文化交流課」が担う多文化共生等を統合し、「男女共同・多文化共生センター」を新設します。
- ▶ ユニバーサルデザインの推進などに取り組む民間団体の活動を、交流・連携の促進や活動スペースの確保などの面で支援する市民活動支援拠点の検討を進めます。

(3) 外部チェック機能の強化

- ▶ 本指針の策定にあたり、有識者の意見を反映させるために設置した「ユニバーサルデザイン推進指針検討委員会」を、指針に基づく施策を継続的に進捗管理する機関として「(仮称)ユニバーサルデザイン推進検討委員会」に改めて定期的を開催し、外部からのチェック機能を強化します。



V ユニバーサルデザインの推進体制 ②

2. 各主体の役割

ユニバーサルデザインの推進は、市の取組だけでなく、市民、民間団体、事業者の各主体が、目標を共有しながら自らの役割を果たすとともに、連携して取り組んでいくことが重要であり、各主体に期待する役割は次のとおりです。

(1) 市民に期待する役割

- ▶ すべての市民がまちづくりの担い手という意識を持ち、周りに対する思いやりの目配りや気配り、あいさつや親切な声掛けなど、身近なところからのユニバーサルデザインの実践を期待します。
- ▶ より充実した実践のためには、ユニバーサルデザインに関する知識を深めるとともに多様な人との触れ合いが重要であり、様々な学びの場や交流の機会に積極的に参加し、仲間の輪を広げることが期待します。



(2) 民間団体に期待する役割

- ▶ 同じ目標を持ち、様々な知識や経験を有する人の集合体であるNPOなどの民間団体は、複雑化・多様化するユニバーサルデザインのニーズに、当事者目線に立ってきめ細やかで柔軟に対応できる、まちづくりの重要な担い手です。
- ▶ 団体自らの活動とともに、他団体や事業者、市との意見交換や交流を通じた連携により、相乗効果が期待できる広がりを持った活動の推進を期待します。

(3) 事業者期待する役割

- ▶ 地域経済を支える重要な担い手として、女性や障がい者、外国人が就労しやすい職場環境を整備するなど、誰もが活躍し、自立できるまちの実現に向け、社会的役割を果たすことを期待します。
- ▶ サービス、製品や生産工程、さらには社会貢献において、ユニバーサルデザインやSDGsの視点を積極的に導入しながら、活動を伸展させることを期待します。



《參考資料》

1. 市民アンケート調査①

(1) 調査の概要

▶ 調査目的

第2次いわき市ユニバーサルデザイン推進指針を策定するにあたり、市民が日常生活の中で感じている意見等を把握し、基礎資料を作成すること

▶ 調査対象者

18歳以上の市内居住者で10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳代、90歳代以上の各年齢層から無作為抽出された男女各1,500名（計3,000名）

▶ 調査方法

調査票を郵送し、同封した返信用封筒にて返送を依頼（インターネットでの回答も可）

▶ 調査期間

令和4年2月25日～令和4年3月17日

▶ 回答率

対象者数3,000名、回答者数1,187名、回答率39.6%

※前回調査（平成22年実施）

対象者数3000名、回答者数1199名、回答率40.0%

▶ 年代別対象者数、回答数、回答率

年代	対象者数	回答数	回答率
10歳代	62	20	32.3%
20歳代	314	81	25.8%
30歳代	360	111	30.8%
40歳代	466	167	35.8%
50歳代	466	205	44.0%
60歳代	496	236	47.6%
70歳代	480	257	53.5%
80歳代	278	89	32.0%
90歳代以上	78	19	24.4%
無回答	-	2	-
計	3,000	1,187	39.6%

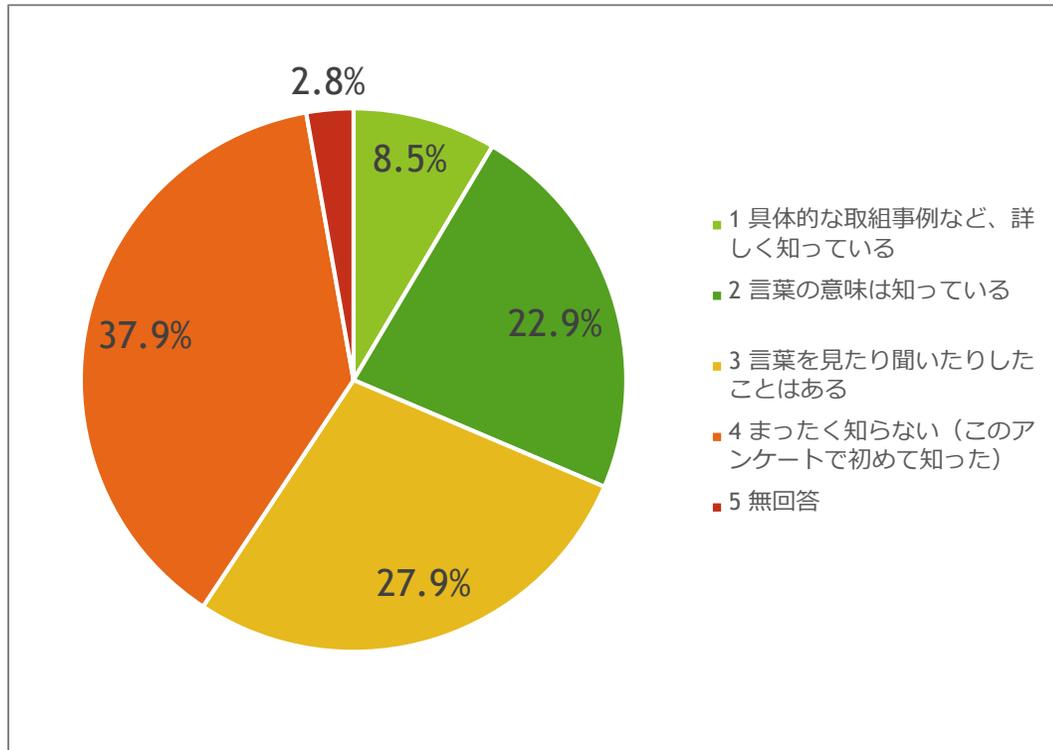
※令和3年12月1日時点の住民基本台帳における18歳以上の人口の中に占める各年齢層の比率を基に対象者数を算定

1. 市民アンケート調査②

(2) 調査の結果

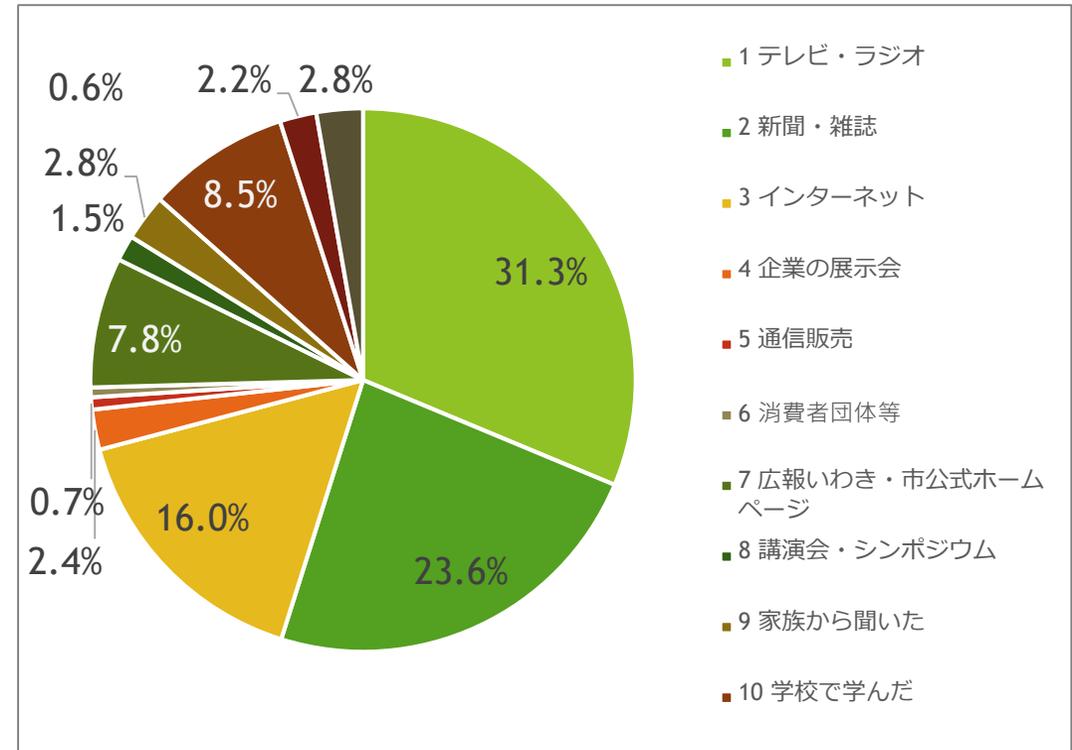
【ユニバーサルデザインについて】

①あなたは「ユニバーサルデザイン」という言葉や考え方について知っていますか。



約6割がユニバーサルデザインという言葉を見たり聞いたりしたことがあるか、その意味や具体的な取組事例を知っているとの結果になりました。

②ユニバーサルデザインに関する情報について、どのようなもので知りましたか。

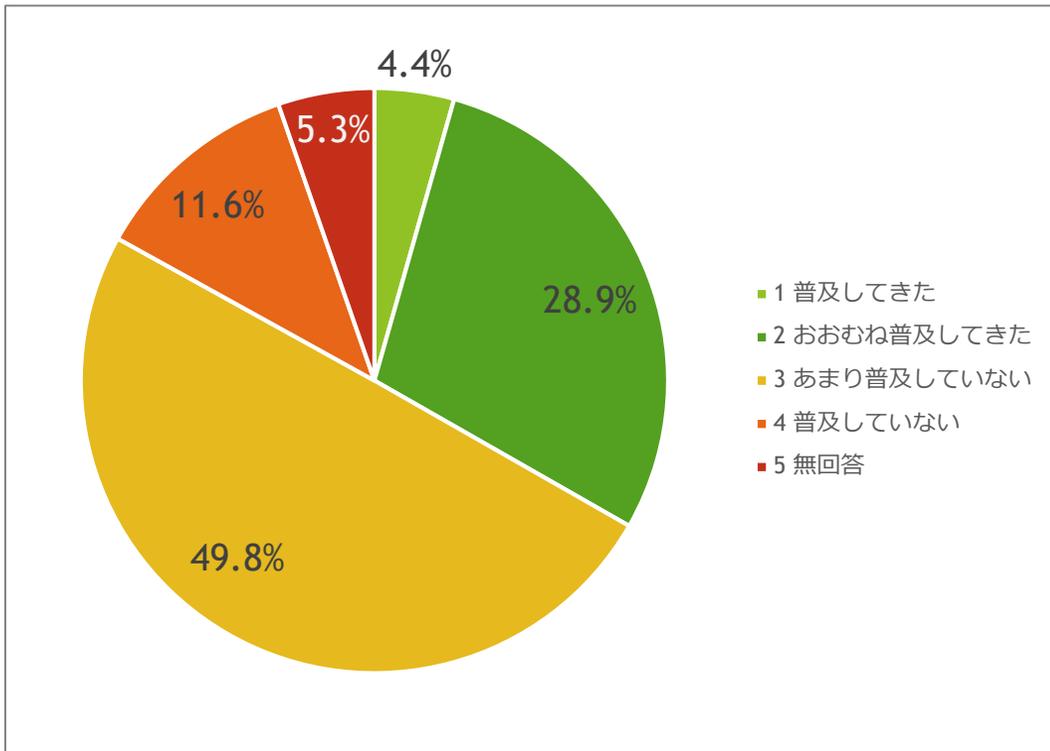


テレビ・ラジオ、新聞・雑誌、インターネットで約7割を占める結果となりました。

1. 市民アンケート調査③

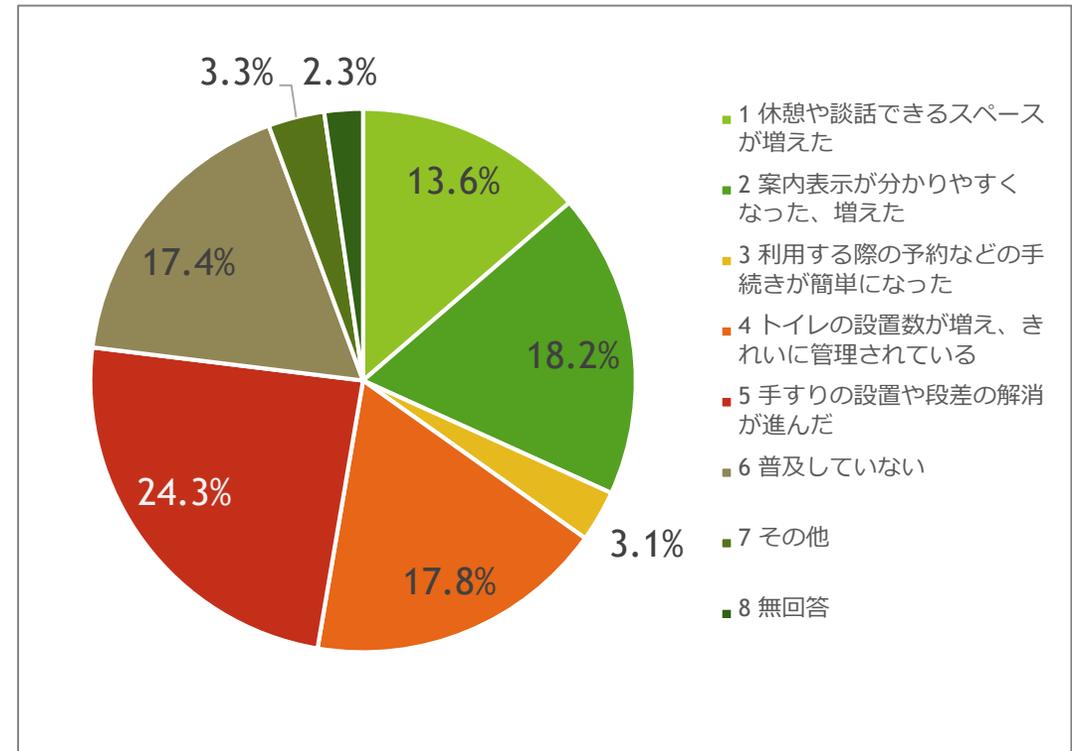
【ユニバーサルデザイン（ハード面）について】

①あなたは、多くの人が利用する市内の施設や公共交通機関などにおいて、ユニバーサルデザインが普及してきたと思いますか。



約6割が普及していないと感じているとの結果になりました。

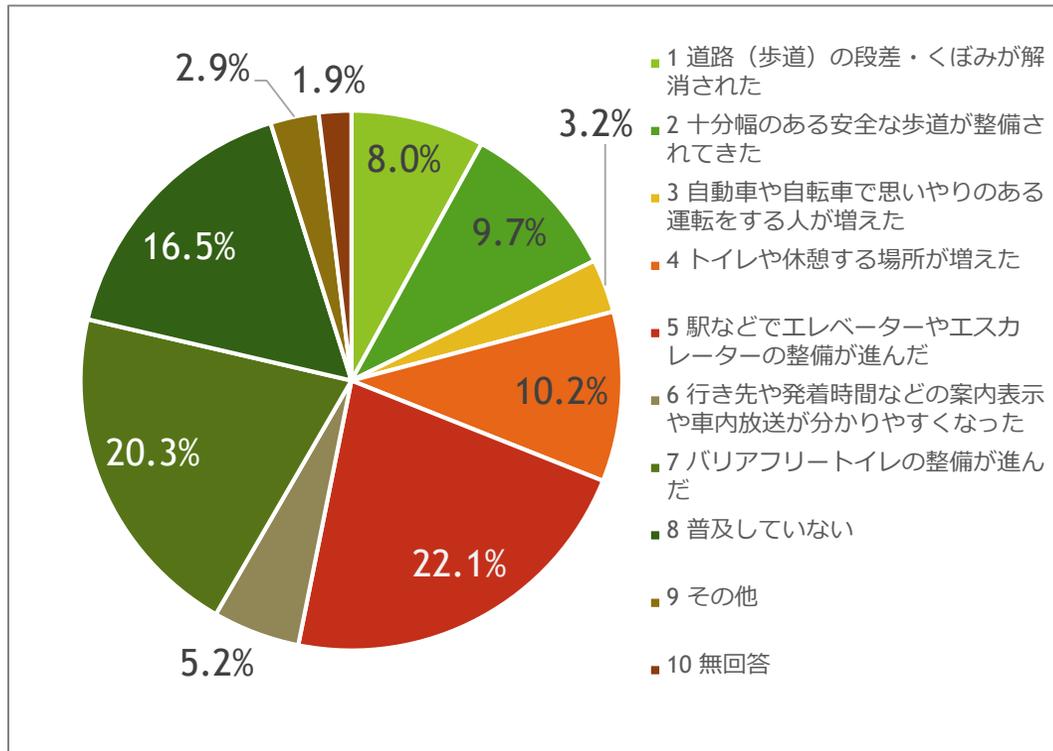
②あなたは、市内のお店や施設、公園や観光地などで、ユニバーサルデザインが普及してきたと感じるのはどのようなところですか。



「手すりの設置や段差の解消が進んだ」の割合が最も高い結果となりました。

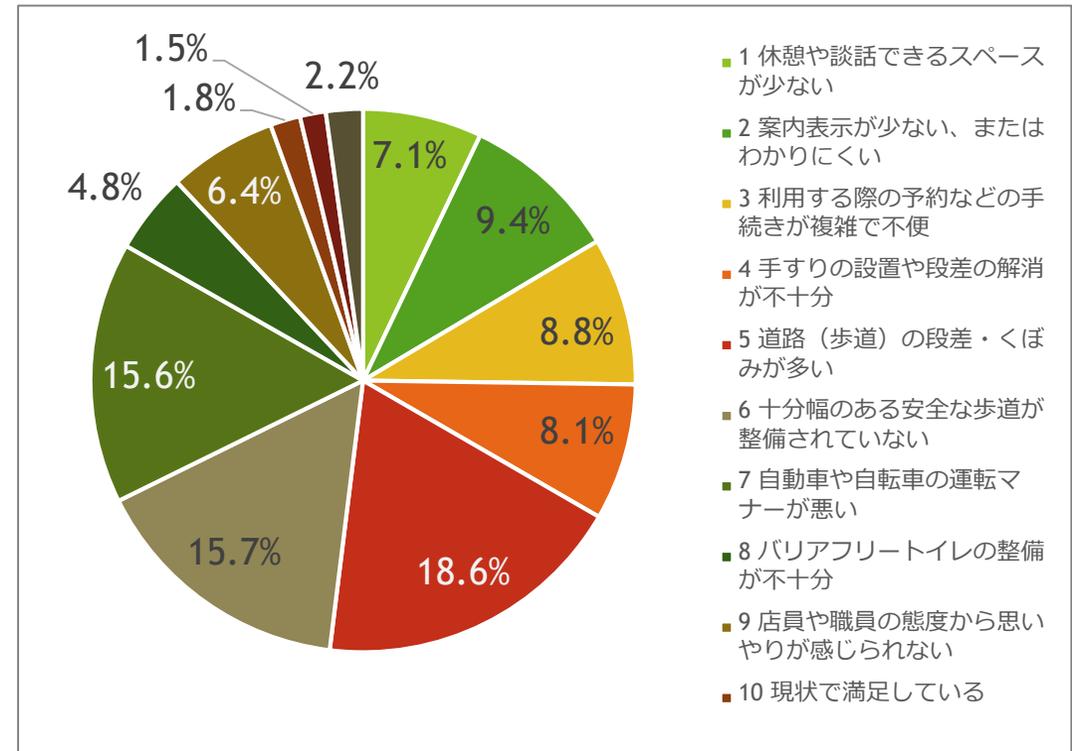
1. 市民アンケート調査④

③あなたは、市内の道路（歩道）や公共交通機関などで、ユニバーサルデザインが普及してきたと感じるのはどのようなところですか。



「駅などでエレベーターやエスカレーターの整備が進んだ」の割合が最も高い結果となりました。

④あなたは、市内のお店や施設、道路や公共交通機関などの様々な場所において、ユニバーサルデザインの普及が不十分であると感じるのはどんな点ですか。

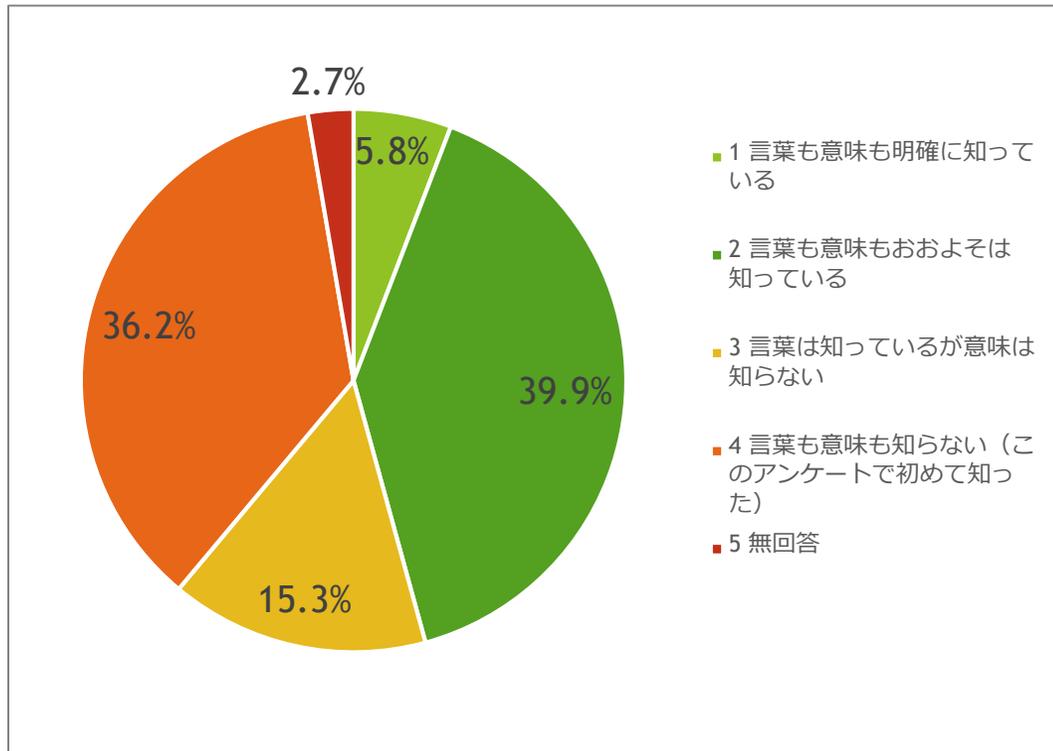


「道路（歩道）の段差・くぼみが多い」の割合が最も高い結果となりました。

1. 市民アンケート調査⑤

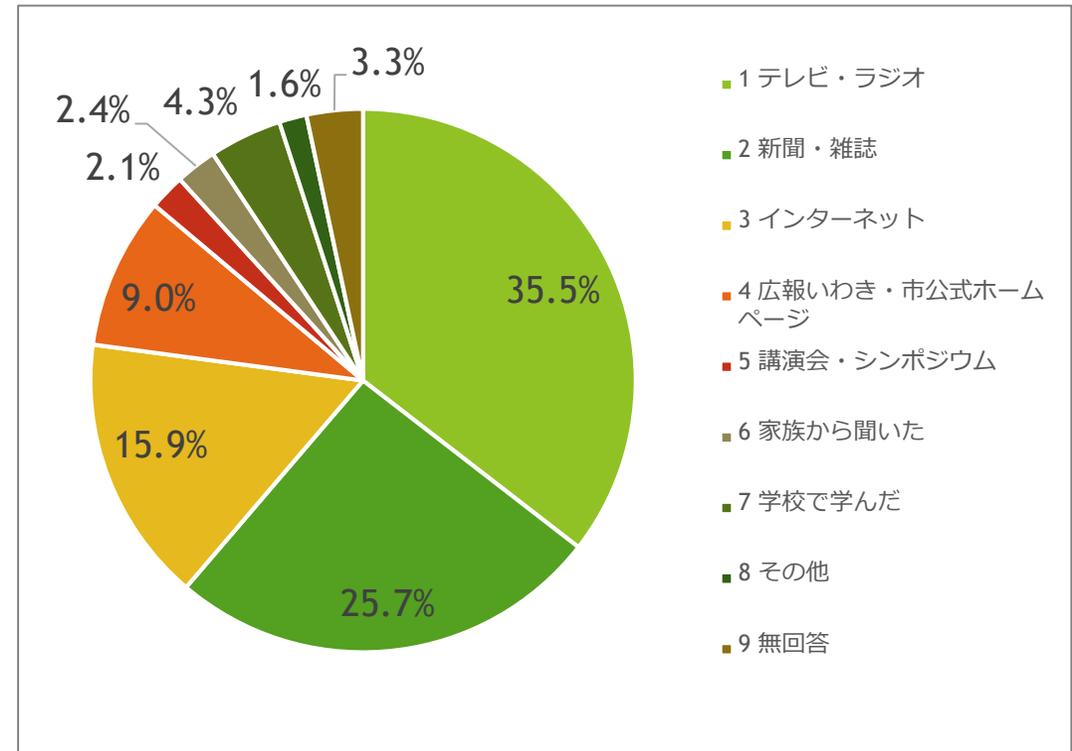
【心のバリアフリーについて】

①あなたは「心のバリアフリー」という言葉や考え方について知っていますか。



約6割が心のバリアフリーという言葉を見たり聞いたりしたことがあるか、その意味や具体的な取組事例を知っているとの結果になりました。

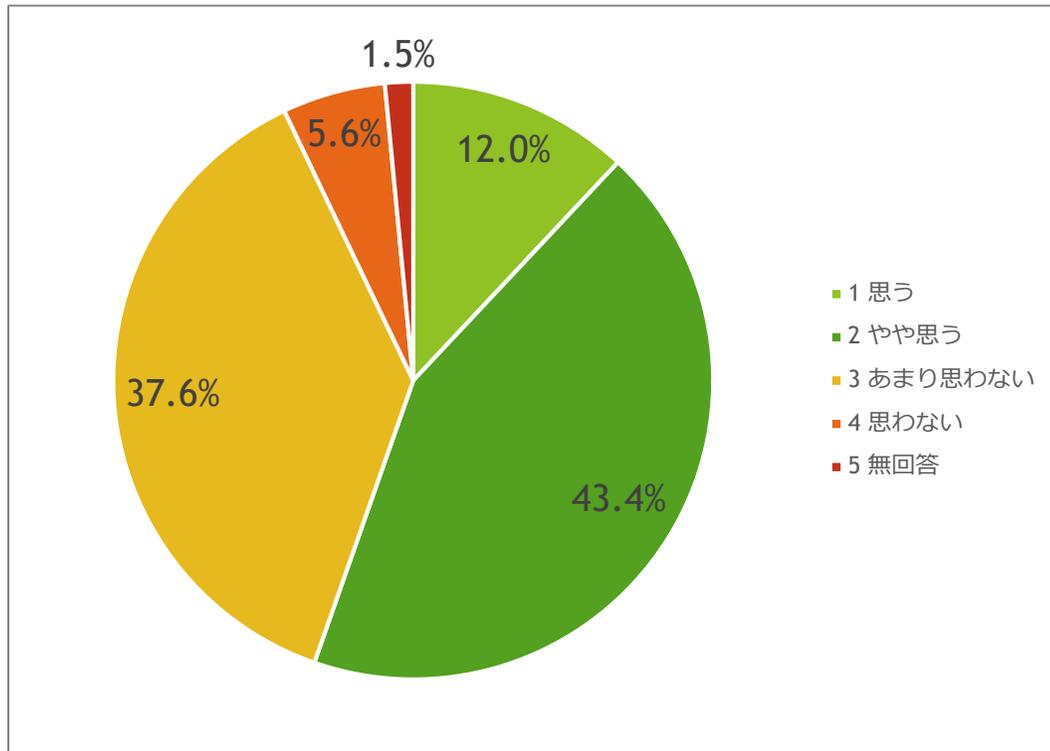
②心のバリアフリーに関する情報について、どのようなもので知りましたか。



「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌」「インターネット」「広報いわき・市公式ホームページ」で8割以上を占める結果となりました。

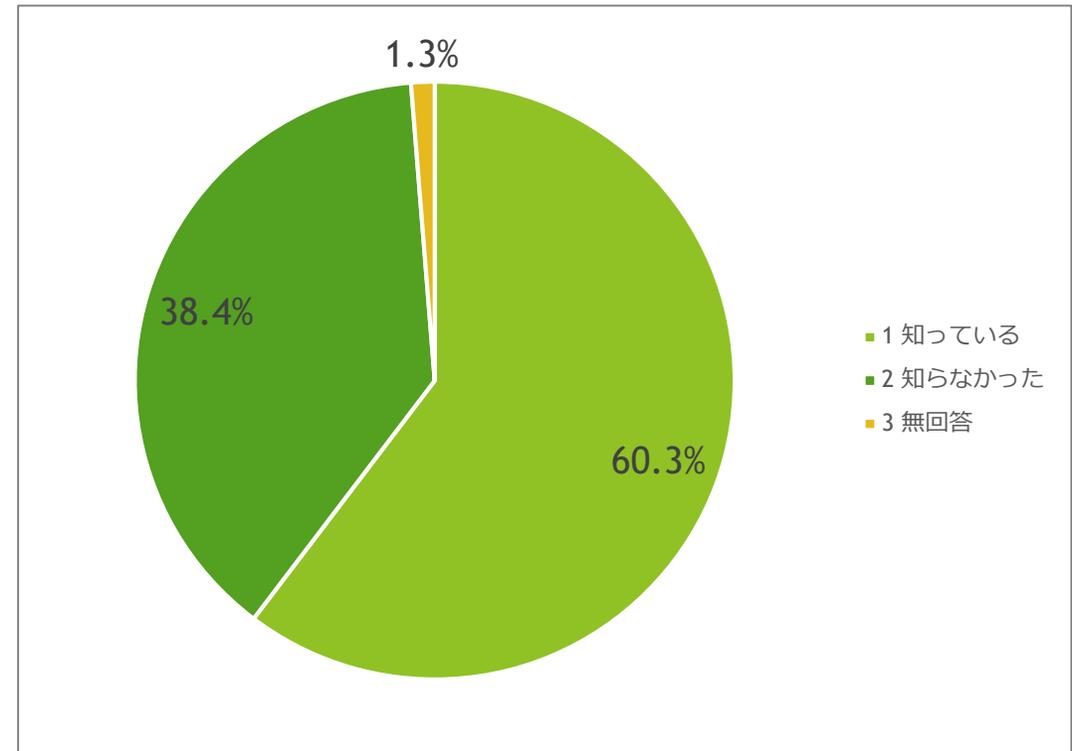
1. 市民アンケート調査⑥

③家庭や地域、学校や職場において、困っている人への声かけや手助け、思いやりのある行動が、あなたご自身及びあなたの周囲においてできていると思いますか。



「思う」と「やや思う」で5割以上を占める結果となりました。

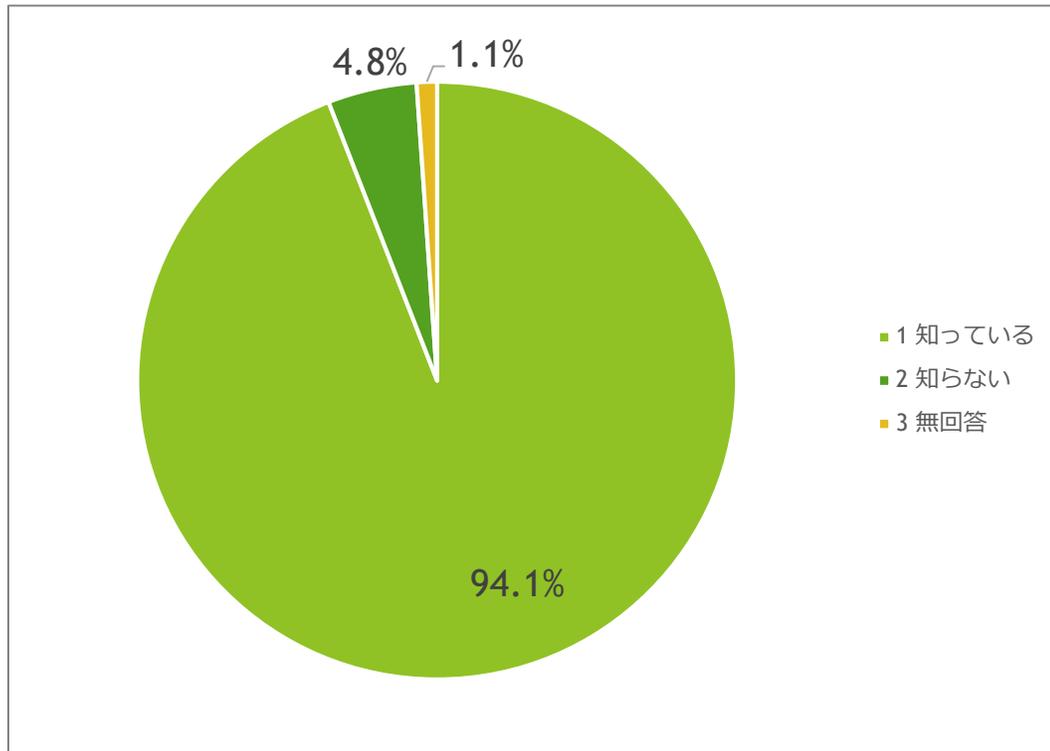
④障がいのある方に対して、障がいを理由に差別をすることは、障害者基本法第4条により禁止されていることをご存知ですか。



「知っている」が約6割を占める結果となりました。

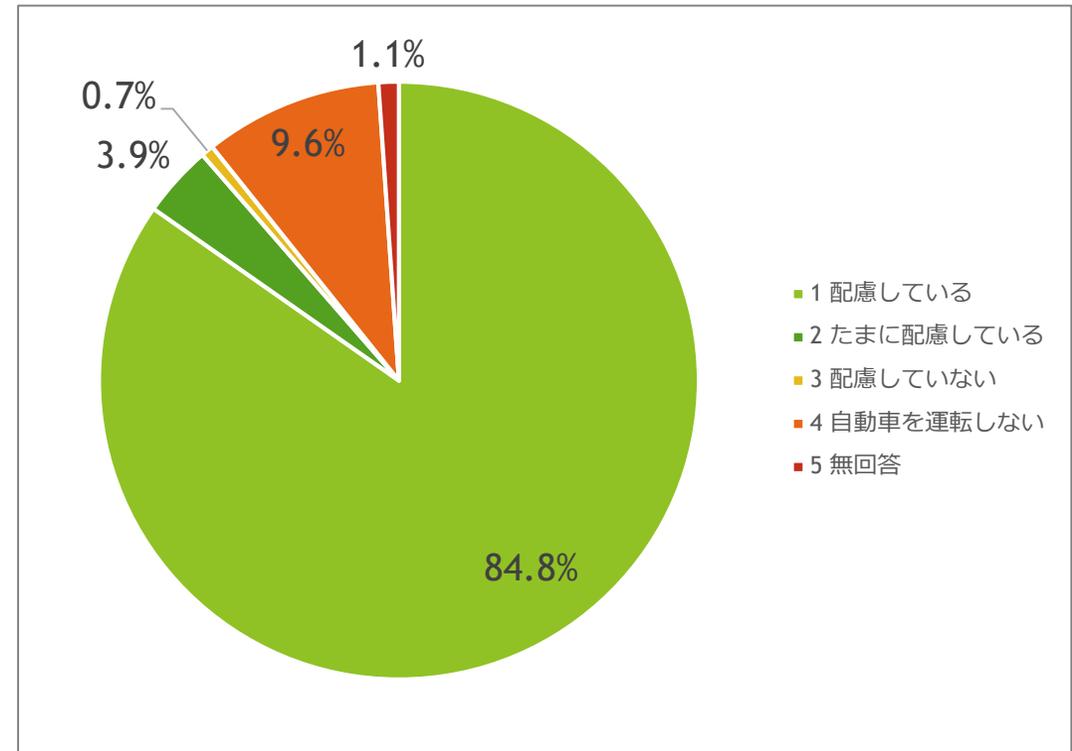
1. 市民アンケート調査⑦

⑤思いやり駐車場とは、車いす利用者等のために広くスペースが確保された駐車スペースのことをいいますが、ご存知ですか。



「知っている」が9割以上を占める結果となりました。

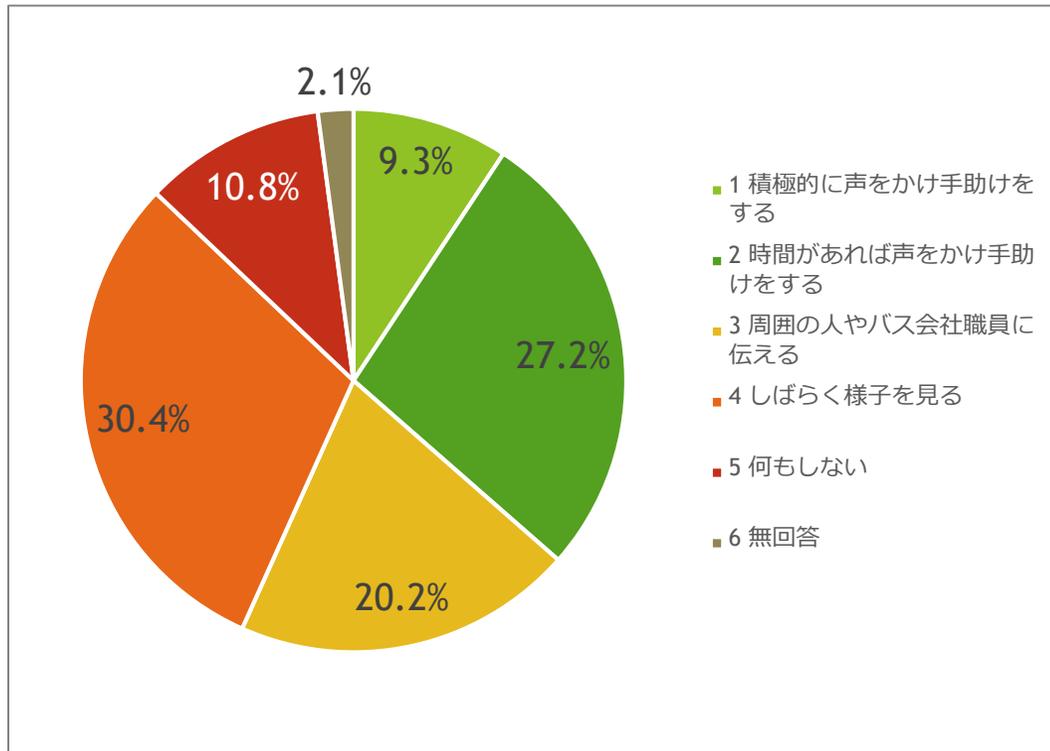
⑥あなたは、思いやり駐車場について、必要とする人のために利用しないで空けておく等の配慮を日頃からしていますか。



「配慮している」が8割以上を占める結果となりました。

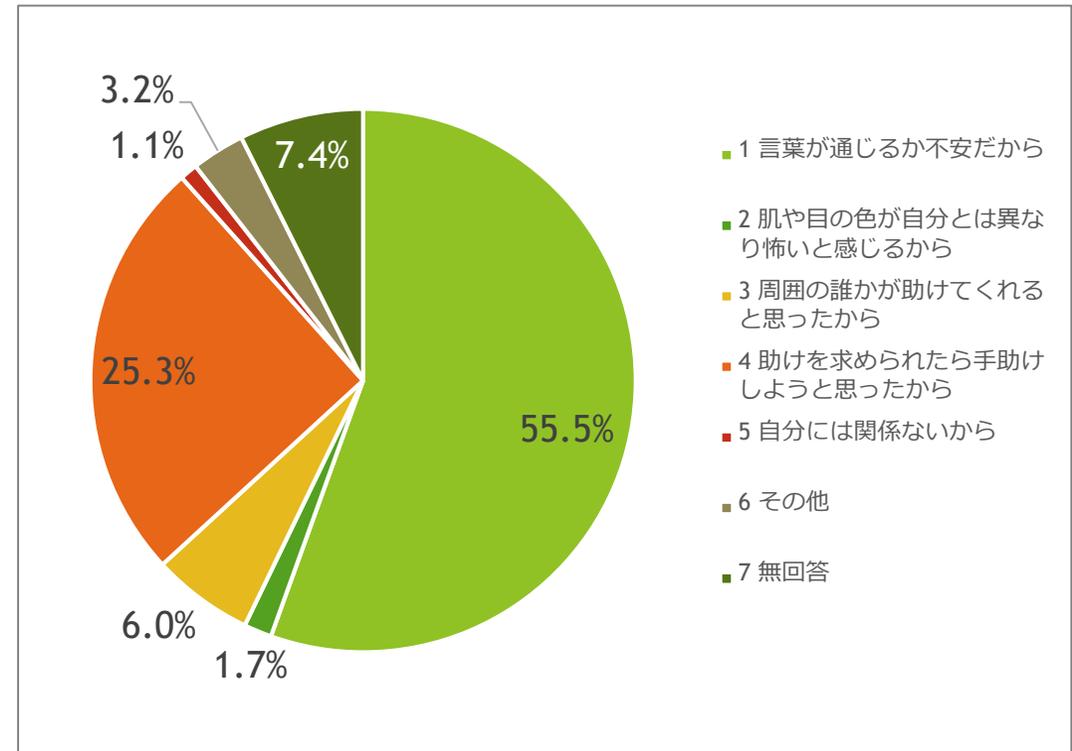
1. 市民アンケート調査⑧

⑦外国人がバス乗り場の案内板の前で何か悩んでいるように見えます。あなたならば、どうしますか。



自分から手助けする、または周囲に伝えると回答した方が約6割を占めました。

⑧「しばらく様子を見る」「何もしない」の行動を選択した理由は何ですか。

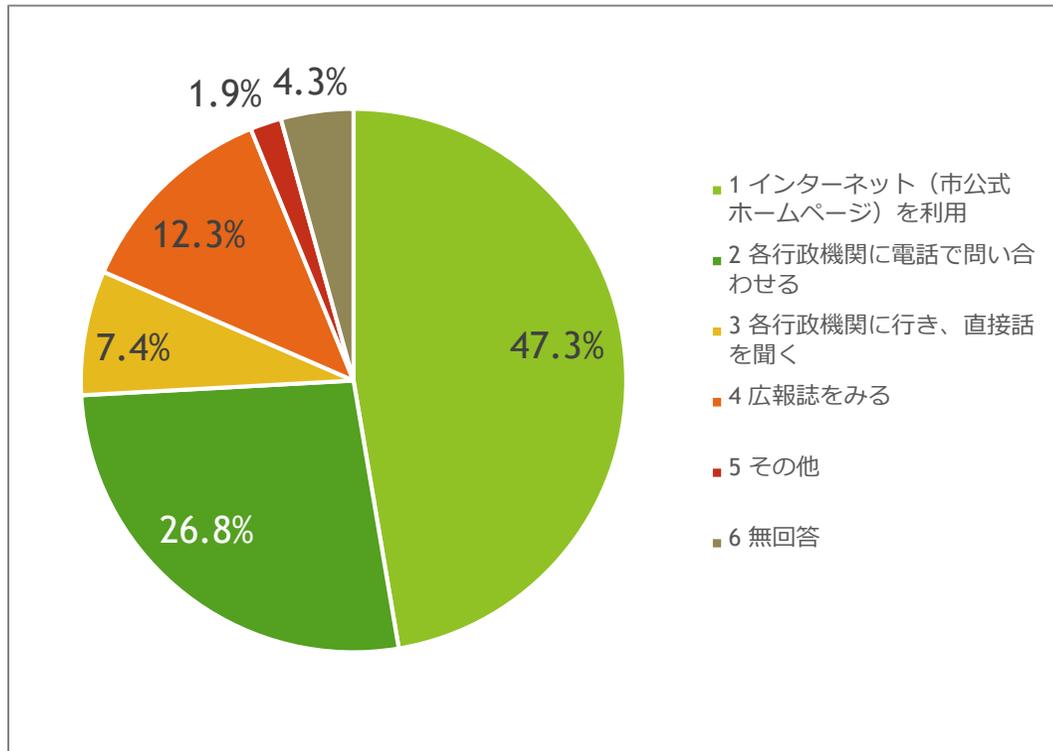


「言葉が通じるか不安だから」と「助けを求められたら手助けしようと思ったから」で約8割を占めました。

1. 市民アンケート調査⑨

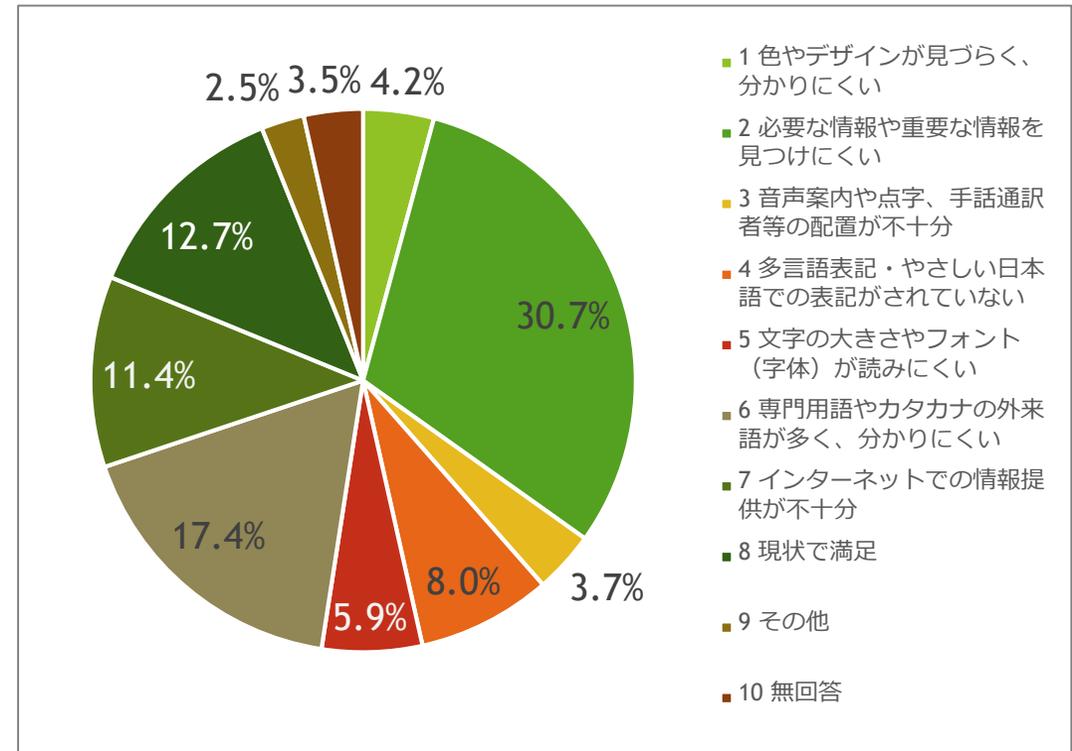
【情報について】

①あなたは各種行政サービスの情報が必要なとき、どのような方法で入手しますか。



「インターネット（市公式ホームページ）を利用」と「各行政機関に電話で問い合わせる」で7割以上を占めました。

②あなたは、行政や企業が作成する広報・広告などで、分かりにくい・不便だと感じたことはありますか。

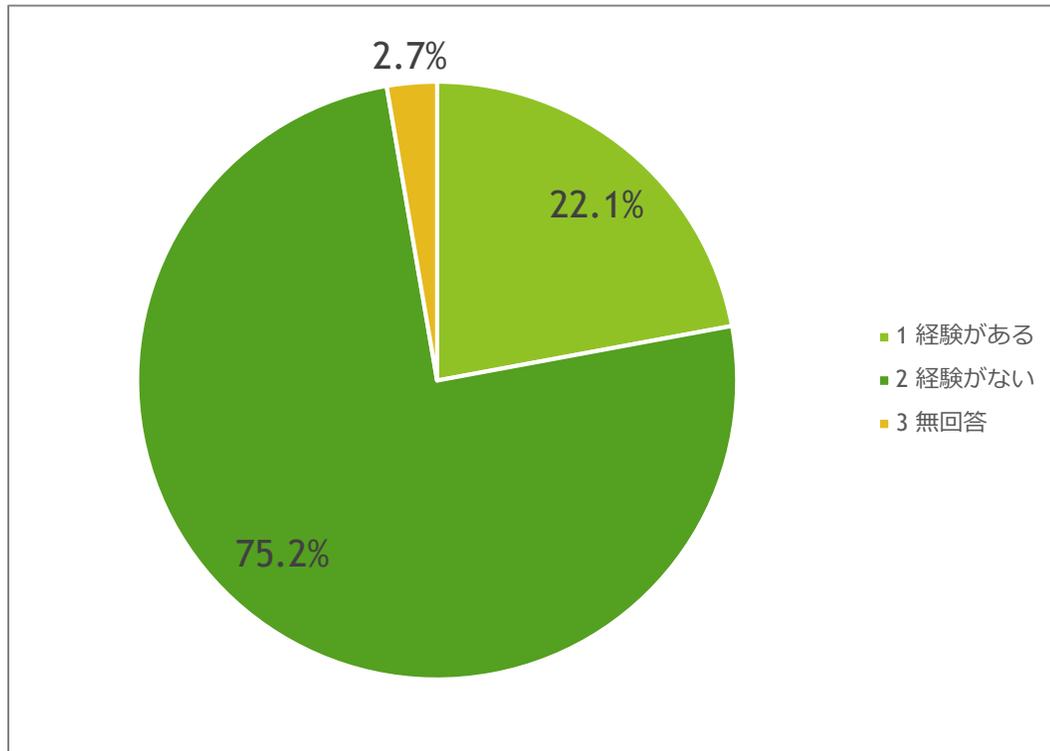


「必要な情報や重要な情報を見つけにくい」や「専門用語やカタカナの外来語が多く、分かりにくい」で約5割を占めました。

1. 市民アンケート調査⑩

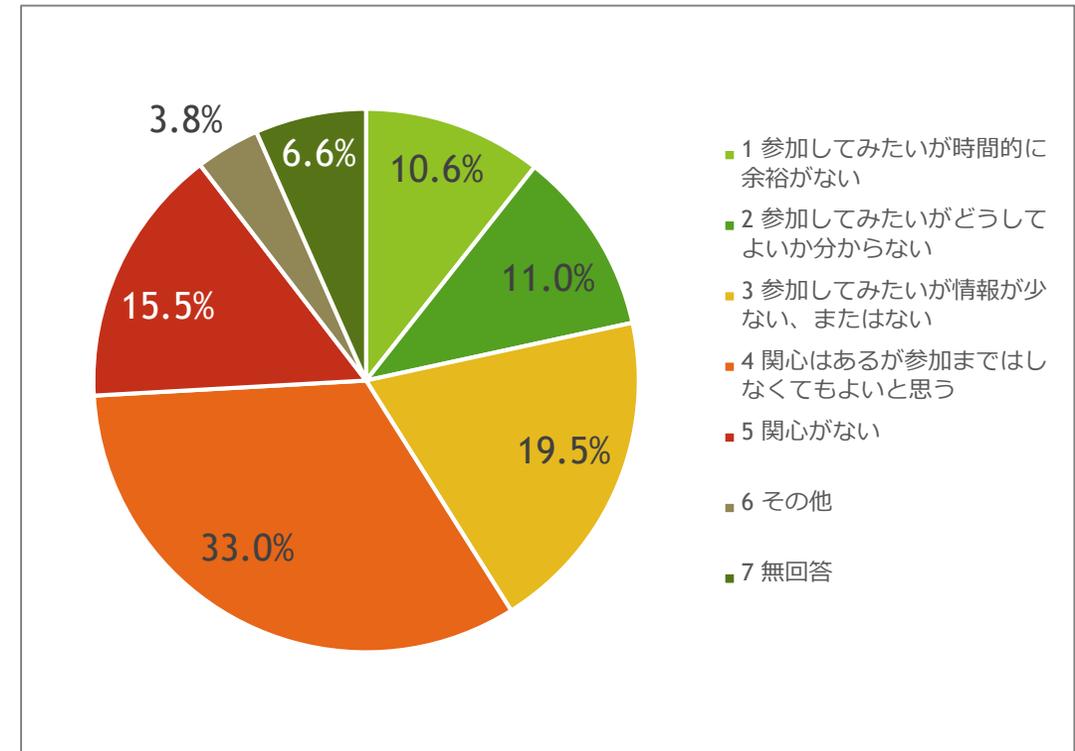
【その他】

①あなたは、障がいのある方や外国人等との交流や支援活動に参加をした経験はありますか。



「経験がない」の割合が7割以上を占めました。

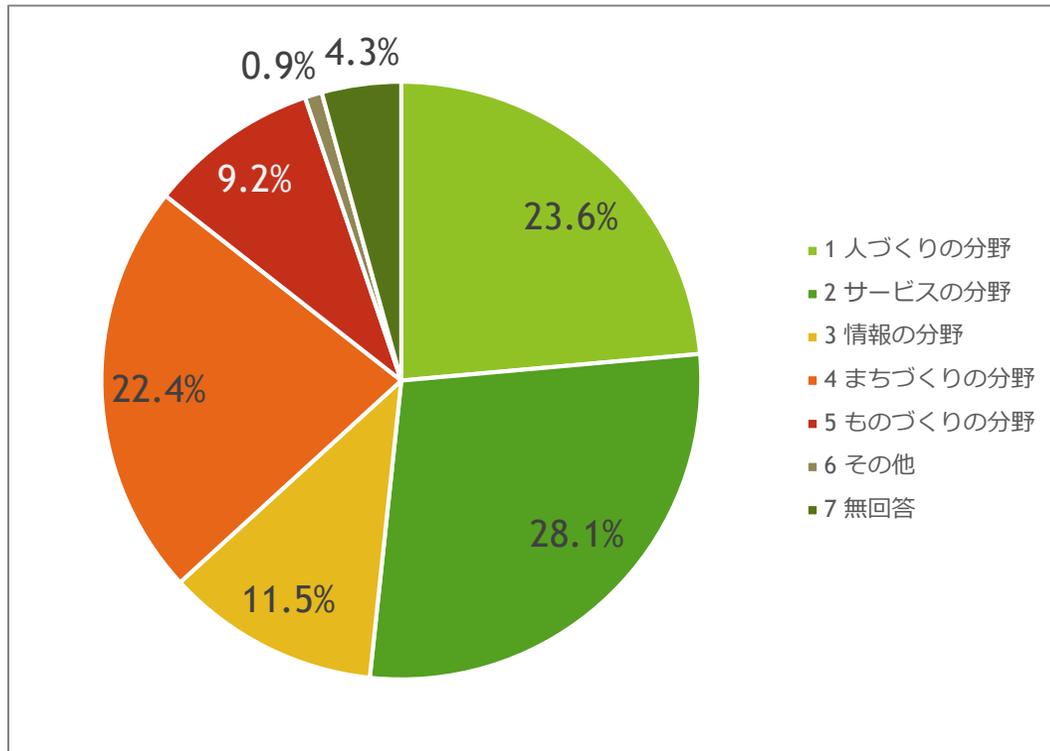
②参加した経験がない理由は何ですか。



「参加してみたいが時間的に余裕がない」「参加してみたいがどうしてもよいか分からない」「参加してみたいが情報が少ない、またはない」と回答した方が約4割を占めました。

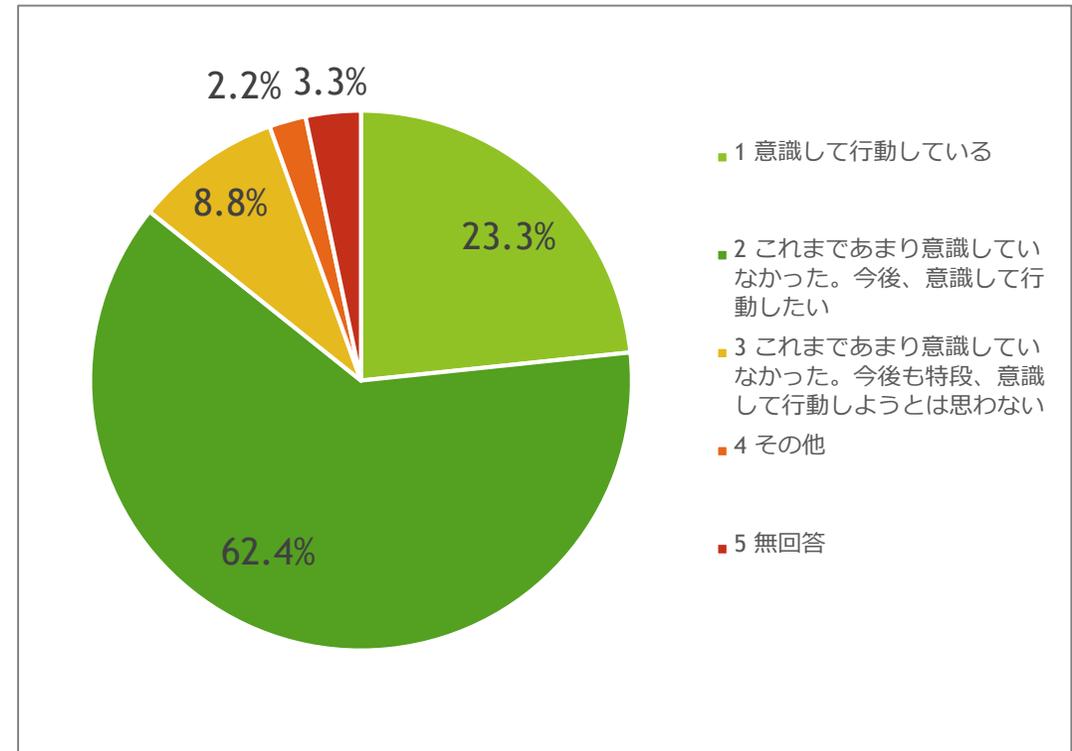
1. 市民アンケート調査⑪

③あなたは、ユニバーサル社会の実現に向けて、行政や企業はどのような分野から取り組むべきだと思いますか



サービスの分野、人づくりの分野、まちづくりの分野、情報の分野、ものづくりの分野の順に割合が高い結果となりました。

④あなたは、心のバリアフリーに繋がるような行動を日頃から意識して実行していますか。また、今後していきたいと思いませんか。



「意識して行動している」「これまであまり意識していなかった。今後、意識して行動したい」で8割以上を占める結果となりました。

2. 第2次いわき市ユニバーサルデザイン推進指針検討委員名簿

区分	氏名	所属等	分類
委員長	齊藤 充弘	福島工業高等専門学校都市システム工学科 教授	学識経験者
副委員長	加藤 幸恵	特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわき 小名浜地域包括支援センター 管理者	高齢者支援関係者
委員	遠藤 真由美	いわき市小中学校長会連絡協議会 いわき市立勿来第一小学校 校長	教育関係者
委員	浦木 祐作	福島県建築士会いわき支部 理事	建築関係者
委員	星 隆之	いわき商工会議所 アルプスアルパイン株式会社人材開発部いわき人事課	外国人雇用企業
委員	志賀 達生	一般社団法人いわき市私立幼稚園協会 平第一幼稚園 園長	子育て支援関係者
委員	河原 哲也	いわき地区障がい者福祉連絡協議会 副会長	障がい者支援関係者

3. 策定経過

年月日	経過
令和4年2月7日	第1回委員会開催（書面）
令和4年2月25日～令和4年3月17日	市民アンケート調査実施
令和4年5月25日～令和4年7月4日	市職員アンケート調査実施
令和4年10月19日	第2回委員会開催
令和4年11月9日～令和4年11月25日	庁内照会
令和5年1月19日	庁内検討会議開催
令和5年1月20日～令和5年1月26日	庁内照会
令和5年2月1日	第3回委員会開催
令和5年2月10日～令和5年2月22日	庁内照会
令和5年3月7日～令和5年3月20日	パブリックコメント実施
令和5年3月24日	第4回委員会開催
令和5年3月30日	策定